

委員会報告(総務産業建水委員会)

令和2年度土岐市一般会計決算の認定（所管箇所）

質疑 市有地防草シート設置工事について、どのような箇所に設置しているのか。

答弁 草刈作業に危険を伴う急斜面等を優先順位を決め実施している。

質疑 農業次世代人材投資資金について、新規就農者支援の現状は。

答弁 土岐市に移住した就農者3名に対し支援をし、ブロッコリー等を栽培している。

質疑 下石西山地区工場適地調査について、その調査結果は。

答弁 約9万平方メートルの土壤、土質調査を実施し、用地の安全性を確認した。

質疑 自主運行バス欠損補助金について、収益を上げるための検討はなされているのか。

答弁 コロナ禍により策定を延期した地域公共交通網形成計画に中で収益についても検討していきたい。

質疑 テイクアウト促進事業の効果について。

答弁 1回目は、参加全42店舗で完売、2回目は52店舗中41店舗で完売となっており、大変好評であった。

質疑 洪水・土砂災害ハザードマップ作成について、従前のマップとの相違点は。

答弁 洪水と土砂災害別々であったハザードマップと一緒にするとともに英語版も作成し、利用しやすいものにした。

質疑 公園施設長寿命化計画の進捗状況は。

答弁 令和2年度までに15公園の遊具の改修を実施した。

質疑 消防女性職員の受け入れ体制をどのように整備したのか。

答弁 女性専用仮眠室、ベッド、ロッカー、洗濯機等を整備した。

質疑 救急救命士を一名採用したことにより、人員は何名となったのか。

答弁 18名の救急救命士が救急業務を行っている。

討論 電源立地地域対策交付金を、市職員の人事費に充てることは、不適切であり、この決算に反対する。

令和3年度土岐市一般会計補正予算（第9号） 所管部分

質疑 中小企業支援事業は市の単独事業か。また、補助額と件数はどのくらいか。

答弁 市独自の小規模事業者持続化補助金制度により中小企業者を下支えするもので、100万円を限度額として、36件想定している。

質疑 脱炭素化推進事業について、陶磁器製造事業所に対してどのような取り組みをするのか。

答弁 CO₂削減に向けて市独自の指標を設け、事業所に対し、その指標の成果をステッカーなどで公表する。

令和2年度土岐市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

質疑 水道管の耐震化率は何パーセントか。

答弁 35.8%である。

令和2年度土岐市下水道事業会計決算の認定について

質疑 農業集落排水の水洗化率は何%か。

答弁 66.1%である。

委員会報告(文教厚生委員会)

令和2年度土岐市一般会計決算の認定（所管部分）

質疑 新型コロナウイルス支援制度関連の証明手数料減免の実績について。

答弁 市民課関連で2,153件、税務関連で340件無料交付した。

質疑 生活困窮者自立支援事業について、相談件数が伸びているがどのように分析しているのか。

答弁 コロナ禍により状況が悪化し相談件数が増えている。社会資源を活用し、就労に結びつくよう支援している。

質疑 三人乗り自転車、チャイルドシート等購入補助金について、周知方法と補助件数は何件か。

答弁 関係窓口にてチラシを配布し、広報、ホームページ等で周知に努めている。三人乗り自転車は5件、チャイルドシートは135件である。



質疑 保育士等職員の人材確保の状況は。

答弁 新規採用職員、会計年度任用保育士とも、広報、ホームページ等で幅広く募集をしても、確保できない状況であるが、人員基準は満たしている。

質疑 西部こども園園庭改修工事について、工事により園庭の利用に支障はなくなったのか。

答弁 降雨時、園庭に水道（みずみち）ができることがあったが、現在は、工事により解消されている。

質疑 健康づくり事業、オンラインウォーキングイベントの実施状況について。

答弁 アプリを取り込んでウォーキングするものであるが、472人という想定よりも多くの方に参加いただけた。

質疑 小児のインフルエンザワクチンの接種率は何%か。

答弁 1回目接種率は、62.7%、2回目接種率は51.7%である。

質疑 自動車騒音常時監視に係る騒音調査について、調査箇所は年々変わらるのか。

答弁 市内に8箇所の調査地があり、3年ローリングで調査を実施している。

質疑 ごみ処理実績について、ごみ処理手数料の有料化により資源化が進み家庭ごみの減量化が図られるとのことであったが、増加に転じた理由は。

答弁 新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅での生活が長くなつたことが要因の一つである。

質疑 運転免許証自主返納者支援事業について、前年度より返納率が下がっている要因は。

答弁 新型コロナウイルス感染防止により、外出機会が減少したことによる影響している。

質疑 教育相談アドバイザーの活動実績について。

答弁 支援が必要な児童生徒に対する教育相談、学校からの相談対応、子ども相談センターとの連携等、多方面で活躍いただいている。

質疑 スクールロイヤー等派遣事業について、実際に弁護士を派遣した事例はあるのか。

答弁 中学校のトラブルに対する助言のためスクールロイヤーを派遣した事例がある。

質疑 スクールサポートスタッフを18名配置したが、人数は適正であったのか。

答弁 コロナ禍の教職員の負担が軽減され、人数は適正である。

質疑 放課後教室の利用者が前年度と比べ半減している要因は。

答弁 新型コロナウイルス感染防止の観点から、利用の自粛を依頼したことや保護者の利用控えもあり、半減している。

質疑 公共施設予約システムの導入による効果について。

答弁 来庁する手間が省略されたことで、予約の利便性が非常に高まった。

質疑 アレルギー対応食の対象者は何名か。

答弁 57名である。

質疑 学校給食安定供給支援金について、何社へ交付したのか。

答弁 学校臨時休業期間の給食基本食材供給業者4社へ交付した。

討論 保育士等職員の人材確保が不十分であり、待遇改善や、定数見直しなど抜本的な改革が必要であり、この決算に反対する。



土岐市手数料徴収条例及び土岐市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

質疑 個人番号カードの再交付手数料の改正であるが、市民の手続きに変更はあるのか。

答弁 市と地方公共団体情報システム機構との間の手続きの変更であり、市民の手続きに変更はない。

令和2年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について

質疑 コロナ影響対策としての保険料減免措置の実績は。

答弁 200件、約1,885万円の減免を行っている。

質疑 出産育児一時金の執行が低かった要因は。

答弁 予算では50件を見込んでいたが、実数は23件であった。新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる。

令和2年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について

質疑 コロナ禍において、在宅サービス利用への影響をどのように分析しているのか。

答弁 介護が必要な方は一定のサービスが必要であり、コロナ禍による利用自粛等の影響はあまりないと考える。

令和2年度土岐市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

質疑 すこやか健診、さわやか口腔健診とも受診者が減少している状況をどのように分析しているのか。

答弁 すこやか健診については、定期通院者が多いため、伸び悩んでいる状況である。さわやか口腔健診については、受診率を高めるため、3年度より瑞浪市、恵那市と連携し、利便性を高める取り組みを始めている。

令和2年度土岐市病院事業会計決算の認定について

質疑 入院、外来患者の減、老人保健施設入所者の減をどのように分析しているのか。

答弁 入院、外来患者については、新型コロナウイルス感染症による受診控えが影響している。老人保健施設については、職員の確保が難しい状況で、入所調整を行ったことが要因である。